

直観

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダの選んだ美德 バースデー・ブリスによせて

シッダ・ヨーガ 瞑想ティーチャー マーガレット・シンプソンによる解説

直観の現代的な理解は、「迅速で準備ができた洞察」、あるいは「即座の理解や認識」です。過去、ラテン語や中世の英語では、その言葉には、神秘的な洞察という意味合いがありました。このより深い意味はインドの精神的な教えにも現れます。たとえば、ヨーガの古い文献の中で最も尊敬されるものの一つで、マインドの本質についての説得力のある洞察を含む『ヨーガ・スートラ』を書いた聖人パタンジャリは、神の知識を明らかにする力としての直観について語っています。

直観によってすべての知識がやって来る。

直観を表すサンスクリット語、プラティバーは、直観がどこからどのようにやって来るのかを示唆しているため有益です。プラティバーは光のひらめきを意味し、無知のベールであるマーヤーに穴が開けられ、私たちの内なる神性の全知につながることで生じる瞬間に生じる、最高の自己からの啓示を意味します。そのような瞬間に、これまでただ知的に理解していた教えの真実が、突然「ひらめく」かもしれません。つまり、教えの真実は、私たちにとって生き生きしたものとなり、マインドの思考よりも深いレベルでそれを理解するようになります。同様に、パタンジャリが指摘しているように、以前には私たちが知らなかった創造の側面も知るようになります。直観、プラティバーは、私たちに組み込まれた啓示の力です。

このような美德をどのように育むことができるでしょうか。グルマーイは言います。

あなたが自分自身に問い掛ける時、あなたは自分のエネルギーに触れます。

すると、あなたは真の声、本当の声、本当の直観を聞くことができます。

ヴェーダーンタの哲学で教えられているように、自分自身への問い掛け、アートマ・ヴィチャーラの核は、あらゆる疑問の中で最も深遠な疑問——私は誰か——を探究し、熟考することです。

この自分自身への問い掛けをする時、自我の一時的な同一化は崩壊し、私たちは最も深く、最も広範なエネルギーであるアートマン、私たち自身の偉大なる自己とつながります。

すると私たちは、自分の直観の内なる光、プラティバーの声を聞くことができます。私は誰か、と問う時、深い確信をもって答えが出ます。

「私は、すべての大いなる自己です」

直観についての確言

私は、すべての大いなる自己です。